

1 事業実施の方針

令和3年度は、県の委託事業で通訳・介助者の派遣事業と育成事業、個別や合同での盲ろう者向け生活訓練事業を行う。

盲ろう者と支援者の防災意識を高め、災害に備えるための対策として会報誌へのコラム掲載、安否確認の体制継続、ガイドブックの作成を行う

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額（円）
1. 生活訓練事業	1) 盲ろう者向け生活訓練を行う (千葉県委託事業)	4月～3月	県内	担当者6名、講師115名、登録通訳・介助員161名	登録盲ろう者37名	3,169,000
	2) 盲ろう者のための生活訓練を行う (自主事業)	4月～3月	県内	担当者6名、講師24名、通訳介助員8名	未登録盲ろう者延べ24名	227,000
	3) コミュニケーション技術を習得するために勉強会 (コミュニケーション勉強会)	月1回	千葉市	5名	コミュニケーション技術を身につけたい盲ろう者約10名	0
	4) コミュニケーション技術を習得するための学習会 (ユーザーサークル)	月1回	習志野市	5名	コミュニケーション技術を習得したい盲ろう者約10名	0
2. 相談事業	1) 盲ろう者本人、家族、それらに関わる者についての各種相談を行う	4月～3月	県内	4名	相談希望者	50,000
3. 通訳・介助者の育成事業	1) 盲ろう者向け通訳・介助員養成研修会 (千葉県委託事業)	9月～12月	千葉市	担当者8名、講師、補助講師、通訳・介助者延べ43名	受講生20名	1,895,000

	2) 通訳・介助員の現任研修会（千葉県委託事業）	4月～3月	千葉市	担当者6名、講師、補助講師、手話通訳、通訳・介助員延べ21名	登録通訳・介助員	772,000
	3) コミュニケーション勉強会	月1回	千葉市	5名	盲ろう者のコミュニケーション技術を習得したい方約15名	0
	4) 盲ろう者のコミュニケーション方法の学習会（ユースーサークル）	月1回	習志野市	5名	盲ろう者のコミュニケーション方法を習得したい方約15名	0
	5) 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者研修会への参加	年1回	東京		会員1名	15,000
	6) 盲ろう者向け通訳・介助員養成担当者等研修会への参加	年1回	埼玉		会員1名	15,000
4. 通訳・介助者の派遣事業	1) 盲ろう者に対し通訳・介助員を派遣する（千葉県委託事業）	通年	事務所	担当者7名、通訳・介助員161名	登録盲ろう者37名	19,171,000
	2) 盲ろう者向け通訳・介助員養成担当者等研修会への参加【派遣コーディネーターコース】（千葉県委託事業）	年1回	埼玉		コーディネーター2名	40,000
	3) 他団体に対し盲ろう者向け通訳・介助員を派遣する	随時	県内	3名	不特定多数	0

5. 社会啓発事業	1) HPを有効的に利用し、活動内容を紹介する	随時	事務所	1名	不特定多数	0
	2) 会の案内を定期的に発行する(会報誌)	年6回	事務所	5名	会員、関係団体	60,000
	3) 千葉県における盲ろう者実態調査(千葉市委託事業)	4月～3月	千葉市	4名	コロナ感染の状況により活動も制限されるため今年度は未定	922,352
	4) パンフレットの配布活動を行う	随時	県内	5名	不特定多数	10,000
	5) 盲ろう者への理解のためにコミュニケーション体験とバザーを行う	随時	千葉市他	12名	不特定多数	10,000
	6) 耳の日まつりに広告を載せる	3月	千葉市	1名	不特定多数	3,000
6. 交流促進事業	1) 月1回、交流会を開催する	毎月第3土曜日	千葉市	6名	会員及び不特定多数	10,000
	2) 関係団体等と積極的に交流を図る	随時	県内	3名	不特定多数	0
7. 災害対策事業	1) 会報誌へのコラム掲載	年6回	県内	5名	会員、関係団体	0
	2) 盲ろう者向け防災支援ガイドブック作成、配布	4月～3月	県内	5名	会員、盲ろう者	30,000
	3) 安否確認訓練	年1回	県内	8名	会員	0
8. その他、本会の目的を達成するための事業	1) 全国盲ろう者団体ニューリーダー育成研修会への参加	年1回	千葉市		会員1名	20,000